

第2回宇宙開発委員会定例会議

1. 日時 昭和46年1月27日(木)
午後2時～4時

2. 場所 宇宙開発委員会会議室

3. 議題 インテルサトリ恒久化交渉 1-2

4. 配布資料

委2-1 第2回定例会議議事要旨

委2-2 世界商業通信紀星組織恒久
化交渉 1-2

委 2-1

昭和46年第1回宇宙開発委員会定例会議議事要旨

- 1 日時 昭和46年1月6日(水)
午後2時~3時
- 2 場所 宇宙開発委員会会議室
- 3 議題 昭和46年度宇宙関係予算について
- 4 配布資料
委1-1 昭和45年第16回定例会議議事要旨
委1-2 昭和46年度宇宙関係政府予算案について
- 5 出席者

委員長代理
委員

山 泉 昌 夫
網 島 毅 三
大 野 勝 三
吉 識 雅 夫

関係各省庁職員等

科学技術庁研究調整局長
" 宇宙開発参事官
" 宇宙開発課長
文部省大学学術局審議官
通商産業省工業技術院総務部長
運輸省大臣官官政策計画官
気象庁総務部長

石 川 晃 夫
市 瀬 輝 雄
野 口 節 三
渡 谷 敬 三
(代理:鈴木)
黒 部 稔
(代理:柘植他)
松 尾 進
(代理:高谷)
紅 村 武
(代理:有住他)

海上保安庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

郵政省電波監理局無線通信部長
建設大臣官房技術参事官

宇宙開発事業団システム計画部長

事務局

科学技術庁宇宙企画課長

提 毅
(代理:山崎)
太 原 幹 夫
(代理:上田他)
大 塚 次 郎
増 岡 康 治
(代理:中村)
黒 田 泰 弘
(代理:高木)

園 山 重 道 他

6 議事内容

(1) 「第16回宇宙開発委員会定例会議議事要旨」が確認された。

(2) 昭和46年度宇宙関係政府予算案について、園山宇宙企画課長、および関係各省庁から説明があつたのち、これを審議した。

なお、関係各省庁職員から説明があつた際、特に有住気象庁企画課長から、気象衛星に対する大蔵省の意向は50年に打上げることを大蔵省として認めたわけではないから、50年間に間に合うならば、打ち上げても差支えないということであつたと説明があつた。

審議の際次の質疑があつた。

- (イ) 山県委員：東京大学の予算は開発計画に沿ったものか。
鈴木文部省大学学術局審議官代理：開発計画に沿った予算になつている。
- (ロ) 山県委員：種子島周辺漁業対策事業費補助金はこれで充分か。
石川局長：共同利用施設等の補助金部門が45年度で完了し、46年度は利子補給だけなので、充分と考えている。
園山課長：共同利用施設等の設置事業についても一部に継続してもらいたいという、要望はあるが、大勢を動かすほどのものでないと考えている。また利子補給について従来対象としてきた6県以外からの要望があり、現在折衝中であるが、実施したとしても金額は僅かであるから支障ないものと考えている。
- (ハ) 山県委員：事業団の予算の取り扱いは今後どうなるか。
園山課長：これから、認可予算等の段階で細かくつめてゆくことになる。
- (ニ) 網島委員：予算の弾力性はどの程度もたせることができるか。
園山課長：件費費等一部の指定経費は流用が禁止されているが事業費については必要あれば流用等が行なえることとなつている。
- (ホ) 山県委員：今年度の事業計画はどのように処理するか。
園山課長：計画の変更に伴い、事業計画および認可予算の変

更が必要なので大蔵当局と協議した後、近く認可手続をとることになるものと考えている。

山県委員：事業計画については委員会に説明することになるか。

園山課長：認可の段階までに御説明することとしたい。

山県委員：基本計画を早くしなければならぬと思う。

園山課長：できるだけ早く原案を作成するよう努力する。